

きぼうのいえ ニュースレター



2024年 冬号

特定非営利活動法人 きぼうのいえ

〒111-0022 東京都台東区清川2丁目29番12号

電話：03-3875-7523 Fax：03-3875-7525

E-Mail：kibounoie777@mbr.nifty.com

ホームページ：http://www.kibounoie.info

 変わりゆく街の中で 

理事長 下条 裕章

屋上に立って周囲を見回してみると、遠くの空まで見通すことができます。

きぼうのいえの周りも随分様変わりをしていることがわかります。簡易宿泊所と呼ばれる建物が立っていたところがホテルとなり多くのインバウンド客が出入りするようになっていたり、近くの住宅がマンションとして建て替えられたりと、目に映る青空は少し小さくなったようにも思います。コロナ禍によって絶えていた路上の人通りも回復の様子。きっとこれからもこの街は変わり続けてゆくでしょう。

景色ばかりでなく、そこに暮らす人々や生活、きぼうのいえを取り巻く環境や関わってくださっている人びとも様々な変化が訪れることになるでしょう。みなさんお一人おひとりにとって、変わってゆくことが、また変化の中にあって変わることなく立ち続けることが、喜びと感謝の想いへと通じてゆくものとなりますよう祈念いたします。

そこで、ラインホルト・ニーバー（1892 - 1971）という牧師の祈りをご紹介しますと思います。彼は、ドイツ系のアメリカ人として2つの世界大戦を経験し、現実の社会の変化の中でその考えを表明し続けることで、多くの人々に影響をあたえました。そしてこの祈りは、彼がその現実の困難に悩み、また迷いに直面することを通して、彼の心のうちに生まれた言葉であると思います。

「神よ、変えることのできるものについて

それを変えるだけの勇気を私たちにお与えください。

変えることのできないものについては、それを受け入れるだけの平静さをお与えください。そして、変えることのできるものと、変えることのできないものとを識別する知恵をお与えください。」

変わりゆく山谷の地にあって、きぼうのいえがこれからもその役割をしっかりと担い果たしてゆくことができるように、みなさまの心のうちにこの小さな営みをお覚えいただき、今後ともご協力をいただきますよう、心からお願いを申し上げます。

よい年を迎えることができますように。



山谷のアキラさん

アーケードが撤去される前のいろは商店街では、昼も夜も関係なく、いたるところで大勢の方々が車座になって宴会を開いていた。その中でもひときわ目立っていたアキラさん。底なしの酒豪で、興が乗ると赤くなった顔で「にしきのあきら」のモノマネをしたり、大声で冗談を言っては酒席を盛り上げていた。ここ最近姿を見ないなー、と思っていたら、まさかきぼうのいえで再会するとは！「あなたは、あのアキラさんですか!？」と尋ねると、神妙な面持ちで「そうだよ。あのアキラだよ。」・・・え〜?! スタッフの私は思わずのけぞりました。すっかり紳士になったアキラさん。二か月たった最期の日の明け方、部屋を訪れると、眠っているような彼の顔を朝日がしずかに照らしていました。アキラさん 享年 69 歳



希望を持ち続けた、望月けん一さん

昭和 46 年に「望月けん一」というけ芸名で歌手としてデビューし、その後、「ミュージカルぼ〜いず」という歌謡漫談トリオのメンバーとしてもご活躍されていた Y さん。脳梗塞により半身不随の身となったあとも、舞台上に復帰することや、自分のお店を開くことを日々夢見て一生懸命リハビリに取り組みられ、いつもベッドの傍らに置いているノートに、自作の歌詞や自分を励ます言葉、はたまた今度お店を開いたときに出すおつまみのレシピなどを書き留めて、夢をはばたかせておりました。最後まで芸人として生きることを夢見て、明るく前向きに生きられた Y さん。デビュー曲のタイトルは「夢ふたつ」でした。Y さん 享年 74 歳



ららら寄付担当♪♪

匿名のステキなプレゼントが
たくさん集まります。
タオルやら洗剤やら。
うれしい うれしいご寄付です。
いちどはお礼を言いたいのですが、
どなたに言えばいいのやら・・・。
ほんとにほんとに ありがとう。
感謝!



新スタッフからひとこと

はじめまして、片渕眞理子です。

大阪が故郷ですが、江戸っ子気質かもしれません。にぎやかなのが大好きです。

十何年前、母を見送り、やり残したことの数々を、ここに来てあれこれ思い出すようになりました。

若いときは、どうってことなく歌っていたことのある♪ありがたや節。

最近は哲学的響きで心に迫ってきます。

♪あ〜りが〜たや あ〜りが〜たや〜 腹がへったらおまんま食べて、
命が尽きればあの世行き♪あ〜りが〜たや ありがたや♪

(ありがたや節はきぼうのいえ最長老96歳のヒサ子さんの十八番)

こんな唄など歌いながら、みなさまと一緒に過ごせたらありがたいです。



こんにちは、システムエンジニアの榎原誠です。2023年の暮れ辺りに知り合いのスタッフから「パソコン関係で助けて欲しい・・・」と声をかけられ、事務スタッフとして入りました。

私は聴覚障害者で「使用している言語は手話がメイン・日本語がサブ」です。聴者とは「YY文字起こし」または「YYProbe」というアプリを使いながら意思疎通をはかっています。補聴器を装着していても完璧には聞こえるわけではないので、呼ばれても話しかけられても気付かない事が多々あります。後ろからは肩を叩いたり、前からは視野に入って手を振って頂ければ幸いです。

毎年、色々な国のグループに呼ばれ、参加者同士の通訳ボランティアや観光案内をしております。英語、フランス語、台湾語、日本語など各国の手話が飛び交う交流会では、間違えてアメリカ人に台湾手話で通訳したりとハプニングがよくあります。そんな私ですがきぼうのいえのインフラも支えていけるよう、頑張ります。**アメリカの路上にて→**



樺太生まれのIさん

戦中に樺太で生まれたIさんは、登別温泉の旅館で働いたり、おんぼ(火葬人)をしたりした後、山谷に来ました。

きぼうのいえでは誰かが亡くなると納棺式を行います。が、讚美歌や読経の音が聞こえると、Iさんはいつも「かわいそうに」とぼつりとこぼしていました。子どものときに火の玉を見たことや、おんぼをしていた時の経験からか、死を恐れていたようです。そんな彼は、最後眠るように穏やかに亡くなりました。彼がこわさを抱えて亡くなったのかどうかはわかりません。死ぬことがかわいそう、ということとは、逆に生きていることはいいこと、とIさんは感じていたのかも知れません。Iさんの大好物はウナギ。毎年Kさんが、寄付してくださる美味しいウナギはIさんにとっても、きぼうのいえの皆に生きる希望の一つです。

ウナギだ！やったぁ〜!(^^)!



食材のご寄付。
厨房のまち子さんと中村さん、
いつもありがとうございます。



きぼうのいえは、ターミナルの方ばかりではなく様々な事情で居場所をなくした方のためのシェルターとして受け入れる場合があります。Mさんは池袋でホームレスをしていた30代の女性です。これまでの人生のほとんどを引きこもり人と関わることが非常に困難でしたが、写真を撮ったり、絵を描くことが上手でした。3週間ほどきぼうのいえで過ごされた後、現在はアパートで一人暮らしを始めています。



入居者のKさん。来た当初は車椅子でしたが、リハビリが功を奏して今ではシルバーカーを器用に操縦し、外出ができるようになりました。

令和5年度決算報告書



※単位：円

<収入の部>		<支出の部>	
科目	決算額	科目	決算額
一般寄付金	11,387,161	人件費	34,232,085
教会寄付金	488,379	修繕費	1,341,012
受取助成金	13,126,150	厨房費	4,078,608
事業収益	30,322,815	水道光熱費	2,044,548
その他収益	312,656	その他諸経費	7,999,993
総計	53,409,793	総計	49,696,246

今年度は20年近く使用した洗面台を取替え、予定していたパソコン設備の充実を図りました。また、システムエンジニアを迎え、行政に提出する様々な統計資料や寄付金関係等がデータ化されました。変わらないのは入居者との関係。この夏の猛暑では入居者もスタッフも踏ん張りました。しかし相次いで三人がご逝去。仲良く三人並んで茶毘に付しました。寂しいけれどすべてに感謝！きぼうのいえの発展のためにどうぞお祈りください。

(事務局 藤堂)

きぼうのいえでは、私どもの活動にご賛同頂ける皆様方に、ご支援・ご寄付をお願いしています。

振り込み方法は ①郵便振替、②銀行振込み、③インターネット募金 の3つがあります。

きぼうのいえの運営へのご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

※ご送金にあたってのお願い：ご支援・ご寄付をくださった方々のお名前の公表の可否をお伝えください。

<p>① 郵便振替の場合 郵便振替番号： 00190-6-388670 名義：きぼうのいえ後援会</p>	<p>② 銀行振込の場合^(※1) みずほ銀行 三ノ輪支店 普通 口座番号：1284037 名義：特定非営利活動法人きぼうのいえ</p>	<p>③ インターネット募金 ホームページからアクセスして、 カード決済することもできます。 http://www.kibounoie.info/index.html</p>
--	--	--

※1 銀行振込の方で領収書が必要な方はメール等で連絡先をお知らせ下さい。

寄附金受領証明書の発行について

きぼうのいえは認定NPO法人です。認定NPO法人に対するご寄付は、寄附金控除（税額控除）の対象となり、税制上の優遇措置を受けることができます。

寄附受領証明書は、ご寄附の都度発行させて頂いております。

寄附受領証明書の再発行はできませんので、ご了承ください。